

法人名	株式会社横濱山手教育研究所
施設名	横浜山手モンテッソーリ保育園

発表者名 (職名)	和田由美子 (主任保育士)	住所	横浜市鶴見区豊岡町38-7		
TEL	045-716-6220	FAX	045-330-8740		
メールアドレス	y.wada@yokohamayamate.jp				
URL	https://yokohamayamate.com/				
定員	57名	職員数	22名		

発表の概要・内容

子どもたちの自然な育ちをサポートする保育とはどのような保育か。
本来子どもたちは自分で「生きる力」を持って生まれてくるが、それを育み、子どもたちの自然な発達を支える保育について、モンテッソーリ・メソッドを軸に考えていく。

子どもが自分で活動を選択できる環境をつくる（物的環境）

子どもの自然な育ちをサポートするおとな（人的環境）

以上の2点に重点を置き、保育所保育指針の「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を見据えて日々の保育を組み立てていく。

その子自身の興味の対象、発達の度合いはそれぞれ違うので、子どもひとりひとりを観察することにより、保育者が「その子に今一番必要な何か」を提供していく重要さを毎日の保育から感じている。「じぶんでできた」ということを積み重ねることにより、子どもの自己肯定感を養い、自分自身の身の回りの配慮（身体的自立）から、環境や他者への配慮ができる（精神的自立）一人の人として育っていくことをサポートしていく。大人が準備をして与える保育から、自発的な行動を促す保育をすると言葉にすると簡単であり、この自発的な行動を促すということは「生きる力」を支えていくことになるが、実際にはどの様に保育すれば良いのか。

例えば、のんびりとした子どもと、なんでもすぐに素早く行動する子どもでは、活動の幅やできること、しいては“やりたいこと”も変わってくる。のんびりと自分のペースで活動したい子どもも、みんなと同じペース行動しなくてはならない時、どの様に行動を促すと良いのか。その子自身のスピードで生活をし、集団生活の中で許される“自由な時間”をどのくらい与えられるか、私たち保育者の声かけや環境の準備というところに力を試されるところではないかと思うのである。

子どもは精神的に満たされていると従順になり、子どもの本来もっている素直な心が見えてくる。では、どの様にしたら子どもを精神的に満たすことができるのか、それはやはり今、その子どもにとって一番興味のあることを「ただただする」ことで満たされるのではないだろうか。それは、決して集団生活の中で、ひとりだけいつまでも自由に過ごして良いということとは違い、先に述べた様に、集団生活の中で与えることができる「制限のある自由な時間」について、私たちはいつも考えているということ、また、子どもひとりひとりの育ちをサポートしていく保育についてを発表する。



メモ